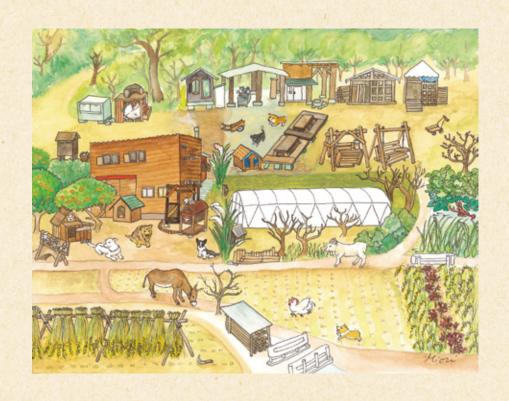
基礎から始める

数官ファーム 運営の手引き



これから始める方、すでに実施している方がより効果的な農林漁業体験を実践するために

はじめに

食や農林漁業に関する国民の関心や理解を深める上で、農林漁業体験は非常に重要です。食育基本法(平成17年法律第63号)、食育推進基本計画(平成18年3月食育推進会議決定)及び第二次食育推進基本計画(平成23年3月食育推進会議決定)において、農林漁業に関する体験活動の重要性が明記されています。

農林漁業者等の指導のもと、多くの生産プロセスを体験する農林漁業体験活動では、食育で求められる効果が発揮されます。農林漁業者やその関係者は、食育の推進として農林漁業に関する様々な体験機会を積極的に提供することが求められています。

本書は、教育ファームをこれから始めようとする方だけでなく、すでに実施している方にも、より効果的な農林漁業体験を実践していただくために、手引きとして取りまとめたものです。

この手引きは、土台づくり編、体験の進め方編で、企画・運営の立ち上げから農林漁業体験・食体験の手順、事後評価までを、知識編では、より効果的な体験活動を行っていただくために参考となる基礎知識を掲載しています。本書を、農林漁業体験を行う皆さまに活用していただき、農林漁業体験活動に役立てていただければ幸いです。

最後になりましたが、本手引きの作成にご協力を賜りました関係者の 方々に、心より感謝申し上げます。

平成26年3月

農林水産省 消費・安全局 消費者情報官

はじめに	<u>-</u> 1
第1:	章 土台づくり編
1	教育ファームとは何か?
	(2) 教育ファームの取組8
何な	いら始める? 教育ファーム10
2	教育ファームの形態 12 (1) 【学校型】 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12
	(2)【一般参加型】
3	教育ファームの運営の仕方
	(1) 立ち上げ方14 ● S T E P 1 構想を整理する
	STEP2 圃場を確保するSTEP3 連携・協賛先を募る/スタッフを確保する
	● STEP4 学校のニーズを把握する【学校型】● STEP5 カリキュラムを基にプログラムを提案する【学校型】
	● STEP4 参加対象に合わせたプログラムを企画する【一般参加型】 (2) 運営について17
	■ 運営資金の調達方法について■ 運営資金確保のための工夫
	●活動の継続体制について
第2	章の体験の進め方編
1	農林漁業体験の進め方
	 栽培作物を決める 年間プログラムを立てる
	●参加者を募集する【一般参加型】
	(2) 体験当日までの準備24

●体験毎のプログラムを立てる

	● 必要な担具寺を準備する	
	● 全体のレイアウトを作成する	
	● 参加者へ案内を出す【一般参加型】	
	(3) 体験当日の進め方	29
	●事前の準備	
	●受付	
	● 自己紹介・スタッフ紹介、作業スケジュール、安全対策の説明	
	●農作業体験時	
	●圃場の片付けなど	
農材	ホ漁業体験で伝えること	30
2	農林漁業体験における安全対策	34
	(1) 圃場の確認	34
	(2) 農具などの点検	34
	(3) 参加者の行動	34
	(4) 緊急時の対応	35
	(5) その他	36
3	食体験の進め方	37
	(1) 体験内容を固める	37
	(2) 体験当日までの準備	37
	● 1回のプログラムを立てる	
	● 会場となる施設等を確保する	
	●必要な食材、器具等を準備する	
	●参加者へ案内を出す【一般参加型】	
	(3) 体験当日の進め方	41
	●事前の準備	
	● 受付	
	● 自己紹介・スタッフ紹介、作業スケジュール、安全対策の説明	
	●調理時	
	●調理・食事後	
食体	卜験で伝えること	43
4	食体験における安全対策	45
	(1) 食物アレルギー対策	45

(2)食材の購入・保存の際の衛生管理	45
(3) スタッフ・参加者の身支度など	45
(4)調理器具等	46
(5)調理中・後	46
(6) 緊急時の対応	47
5 体験の事後評価等	48
(1) 事後評価(振り返り)の仕方	48
● 参加者アンケートなどの実施	
● 生産者、スタッフで体験プログラムを検証する	
(2) 参加者による「振り返り」	49
章末コラム 食べものを味わう	50
1 農を知ろう	54
(1) 農業・農村の多面的機能	54
1) 一時的に雨水を貯めて洪水を防ぐ〈洪水防止機能〉	
2) 土砂崩れを防ぐ〈土砂崩壊防止機能〉	
3) 土の流出を防ぐ〈土壌侵食(流出) 防止機能〉	
4) 川の流れを安定させる〈河川流況安定機能〉	
5) 地下水をつくる〈地下水かん養機能〉	
6) 暑さをやわらげる〈気候緩和機能〉	
7) 生きもののすみかになる〈生物多様性保全機能〉	
8) 農村の景観を保全する〈景観保全機能〉	
9) 伝統の文化を継承する〈伝統文化の継承機能〉	
10) 癒やしや安らぎをもたらす〈保健休養機能〉	
11) 農作業の体験学習〈体験学習と教育機能〉	
(2) 環境に調和した農業生産のために	57
● 自然循環機能を持つ農業	
● 持続可能な農業生産を確保するには	
② 食を知ろう	61
— (1)食料自給率とは	61
● 食料の多くを海外からの輸入に頼る	
● 輸入に頼らない食料確保を!	

(2) 地産地消の取組	63
(3) 地域の食文化を受け継ぐ	63
	● 「和食」がユネスコ無形文化遺産に	
	●旬をいただく日本の食文化	
	● 教育ファームでの活用	
(4)日本型食生活の実践	65
(5) 食品の安全性への配慮	67
	1)農薬	
	2) 食品添加物	
	3)食中毒	
	4) 天然由来の有害物質	
	5)放射性物質	
	6)遺伝子組換え食品	
	7)輸入食品	
	8)健康食品	
コラム		
	農林漁業体験と教科学習との関連	18
	子どもたちへの特別メニュー	24
	林業体験、漁業体験の進め方について	31
	農薬の基礎知識	32
	農作業での事故について	36
	ここをチェック! 食品表示・アレルギー物質を含む食品の表示	42
	生物多様性を育む農林水産業	56
	農家の知恵	65
	農家の知恵 食品ロスは、もったいない!	
事例紹	食品口スは、もったいない!	
事例紹	食品口スは、もったいない!	
事例紹	食品口スは、もったいない!	66
事例紹	食品ロスは、もったいない! 介	12

附録

ワークシート	当日の作業計画記入シート	72
ワークシート	道具類リスト	73
参考文献・資料	웍	74
検討委員・監修	§	75

表紙イラスト: 本多美織